

研究活動計画書 参考書式 (海外短期)

1. 現在までの研究とその成果

- ①これまでの研究と成果について、研究の背景・目的・特色・独創的な点について、記載すること。また、発表した主要な論文等も含めて記述すること。なお、論文を引用する場合は、「2. 研究業績」のうち、どの論文を引用したかわかるよう番号等を用いて明記すること。共同研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにすること。
- ②これまでの先行研究等の論文と比較しながら、本研究の独創的な点について記載すること。
- ③図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること。
- ④発表した主要な論文を修士論文（作成中のものを含む。）としても差し支えない。ただし、その場合は、「修士論文」である旨を必ず明記すること。
- ⑤都市地震工学コースのカリキュラム取得状況
- ⑥英語レベル（TOEIC スコア等）

2. 研究業績

(1) 学術雑誌等（紀要等は除く。）に発表した論文（採録決定・査読中のものを含む。）

共著の場合、申請者が中心的な役割を果たした論文のみ記載すること。

- ①著者（申請者を含む全員の職・氏名を、論文と同一の順番で記載すること。）、題名、掲載紙名、年月、巻号、頁を記入し、申請者にアンダーラインを付すこと。
- ②出版前の学術雑誌等については、採録決定・査読中の別を明記し、本欄に記載すること。ただし、採録決定されたものについては、受理証明書（メールのみでの受理証明の場合は、プリントアウトしたもので差し支えない。）を添付すること。
- ③学術雑誌等に発表した論文がない場合、(3)の欄に紀要等を記入すること。
- ④学会誌等における紙上発表については、その旨を明記して、この欄に記載すること。

(2) 国際会議において発表した論文

国際会議において口頭発表あるいは、ポスター発表をした場合は、共同研究者（全員の氏名）、題名、発表した学会名、場所、年月をこの欄に記載すること。なお、査読のある会議で発表をした場合は、既発表・採択決定・査読中の別を明記すること。